R8年度　文化財保存活用地域計画基本方針に関する取組内容

資料４

○文化財保存活用課の取り組み

担当課	実施内容	事業名	基本方針番号
文化財保存活用課	山林寺院の調査	文化財に計画的な把握調査の実施	1-1-1
文化財保存活用課	震災復興建築や断層の３D化、震災資料のデジタル化	調査成果の保存・管理等の推進	1-1-2
文化財保存活用課	文化財保護審議会の開催	文化財指定等の推進	1-2-3
文化財保存活用課	市民遺産制度の推進	「（仮称）京丹後市登録文化財制度」の創設の検討	1-2-4
		「（仮称）京丹後市市民遺産会議」の発足	1-5-24
文化財保存活用課	文化財保全への補助	京丹後市指定文化財等補助金	1-2-7
文化財保存活用課	収蔵品（民具）の再整理	収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約	1-2-8
文化財保存活用課	市HP、LINE、Facebookへの発信	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	1-3-9
文化財保存活用課	古代の里・郷土資料館企画展示	特別展示や企画展示の開催	1-3-10
文化財保存活用課	「歴史文化物語」パンフレットの配布	「京丹後市歴史文化物語」の発信	1-3-11
文化財保存活用課	市HPのデジタルミュージアム、文化財ライブラリーでの発信	文化財に関する情報や調査成果の発信	1-3-12
文化財保存活用課	文化財セミナーの実施	文化財活用実践セミナーの開催	1-3-13
		文化財セミナー等の開催	1-4-19
文化財保存活用課	文化財看板のユニバーサルデザイン化	文化財のユニバーサルデザイン化の推進	1-3-15
文化財保存活用課	「京丹後の歴史文化を学ぶ」講座の開催	「（仮称）地域史料講座」「（仮称）ガイド養成講座」の実施と人材育成	1-4-20
		歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	1-4-21
文化財保存活用課	文化財保存活用地域計画推進協議会の開催	文化財保存活用地域計画推進協議会の設置・運営	1-5-23
文化財保存活用課	大学・学校・市民と持続的に連携できる体制の構築	文化財に関する計画的な把握調査の体制づくり	1-5-26

○他部局等と協働して行う取り組み

担当課	実施内容	事業名	基本方針番号
ふるさと応援推進課	文化財保護基金の運営	「（仮称）京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	1-2-6
地域コミュニティ・にぎわいづくり課	地域コミュニティ組織の取り組みを支援	「新たな地域コミュニティ組織」との連携	1-5-25
秘書広報広聴課	広報紙への発信	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	1-3-9
デジタル戦略課	ケーブルテレビへの発信	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	1-3-9
観光振興課	ジオパークガイドの養成やスキルアップを図る講座を実施	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	1-4-21
観光振興課	海の京都ＤＭＯが進める文化観光の取組を支援	海の京都ＤＭＯによる「海の京都観光圏」の取組推進	1-5-27
観光振興課	北近畿広域観光連盟が進める取組を支援	豊岡ＤＭＯその他広域観光団体との連携	1-5-28
観光公社	トレイルツアー・ヘルスツーリズムの造成・販売	文化財に関連するエコツーリズムの推進	1-3-14

観光公社	日本海三大古墳スタンプラリー	文化財に関連するエコツーリズムの推進	1-3-14
観光公社	ジオパークや琴引浜の環境学習等を題材にした教育旅行の誘致に向けたモニターツアーの実施	文化財をテーマとした教育旅行の推進	1-3-16
商工振興課	「地域一体型オープンファクトリー」を実施。	文化財に関連するエコツーリズムの推進	1-3-14
生涯学習課	図書館での郷土資料展示	文化財に関する情報や調査成果の発信	1-3-12
生涯学習課	自然の中でカヌー競技等の各種スポーツ大会を実施	文化財に関連するエコツーリズムの推進	1-3-14
海業水産課	「まるっぽ間人か〜にバル」開催を支援。	文化財に関連するエコツーリズムの推進	1-3-14
農業振興課	就農初期の経営基盤の確立を支援	歴史文化の魅力を普及・発信する人材育成	1-4-21
学校教育課	社会科副読本の改正	社会科副読本による歴史文化学習	1-4-18
各小中学校	「丹後学カリキュラム」の活用	「丹後学」と連携した歴史文化学習	1-4-17
こども園・保育所	モデルカリキュラムに沿った郷土愛の育成	「丹後学」と連携した歴史文化学習	1-4-17
京都府	指定文化財の巡視	京都府文化財保護指導委員による巡視	1-2-5

○取り組めていないもの

担当課	実施内容	事業名	基本方針番号
−	−	歴史文化を活かしたコンテンツプロデュースする人材の育成	1-4-22